

様式 1

環境保全行動
自動車使用管理 計画提出書

2025 年 7 月 27 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住 所	〒 060-0001 札幌市中央区北1条西7丁目3-8
氏 名	札幌トヨタ自動車株式会社
(代表者名)	代表取締役会長兼社長 相茶 省三
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)	

札幌市生活環境の確保に関する条例に基づき、環境保全行動計画を策定しましたので、次のとおり提出します。

事業の概要		56 各種商品小売業												
事業の規模	従業員数	494		人	原油換算した		1,243		kl					
	使用床面積	47,166		m ²	燃料・熱・電気の合計量									
	事業所数	23	事業所	自動車使用台数		39		台						
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	メタン	N ₂ O	HFC									
		1,750	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂							
		非エネルギー起源CO ₂	PFC	SF ₆	NF ₃									
		t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂							
提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)					☒ 第 1 項 ☐ 第 3 項							
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)					☐ 第 1 項 ☐ 第 2 項							
計画書の担当部署		担当部署名												
		担当者氏名												
		電話/FAX												
		電子メールアドレス												
計画期間		2025	年	4	月	1	日	～	2028	年	3	月	31	日
環境保全行動 自動車使用管理 計画書		別添のとおり												
備考	環境マネジメントシステムの 認証登録の有無及びその種類	☐ 有 (認証名) ☒ 無												
	その他	従業員数、使用床面積												

注 1 事業の概要は、事業所における日本標準産業分類の中分類項目に掲げる業種及びその業種に対応する日本標準産業分類における分類番号を記入してください。

2 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、4月1日現在で記入してください。

3 事業所数は、4月1日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

4 燃料・熱・電気の合計量は、計画期間の初年度の前年度に使用した量を原油換算して記入してください。

5 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律施行規則第4条に規定する方法で行ってください。

6 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

7 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。

8 環境マネジメントシステムの認証登録がある場合は、認証登録の範囲が分かる書類の写しを添付してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動計画書
自動車使用管理計画書

1 基本的な方針

1. 当社の事業活動が環境に与える影響を正しく認識し、環境目的・環境目標を定め、全社員で継続的な環境改善に取り組む
2. 環境に関する法律・規制・協定等を順守し、環境保護レベルの向上を図る
3. 計画的な環境教育並びに社内の広報活動等を実施し、全社員に環境方針の理解と環境保護の意識向上を図る
4. 全社員による省エネ・省資源活動の積極的な展開と、廃棄物の適正な処理を行い環境汚染の予防に努める
5. お客様に、自動車の環境情報を積極的に提供し、低燃費車・低公害車の普及に努める
6. 環境監査を計画的に実施し、環境マネジメントの維持・向上を図る
7. 地域社会とのコミュニケーションを大切にし、地域の環境保護活動に協力する

2 行動目標

【計画期間】

2025 年 4 月 1 日 ～ 2028 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値		目標削減率	目標数値		基準数値の 設定根拠	削減項目
	数値	単位		数値	単位		
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	1260	千kg	0.20 %	1260	千kg	2024年度実績	灯油、LPG、都市ガス、電力
自動車からの二酸化炭素排出量の削減	489	千kg	0.20 %	488	千kg	2024年度実績	ガソリン、軽油
			%				
			%				
			%				
			%				

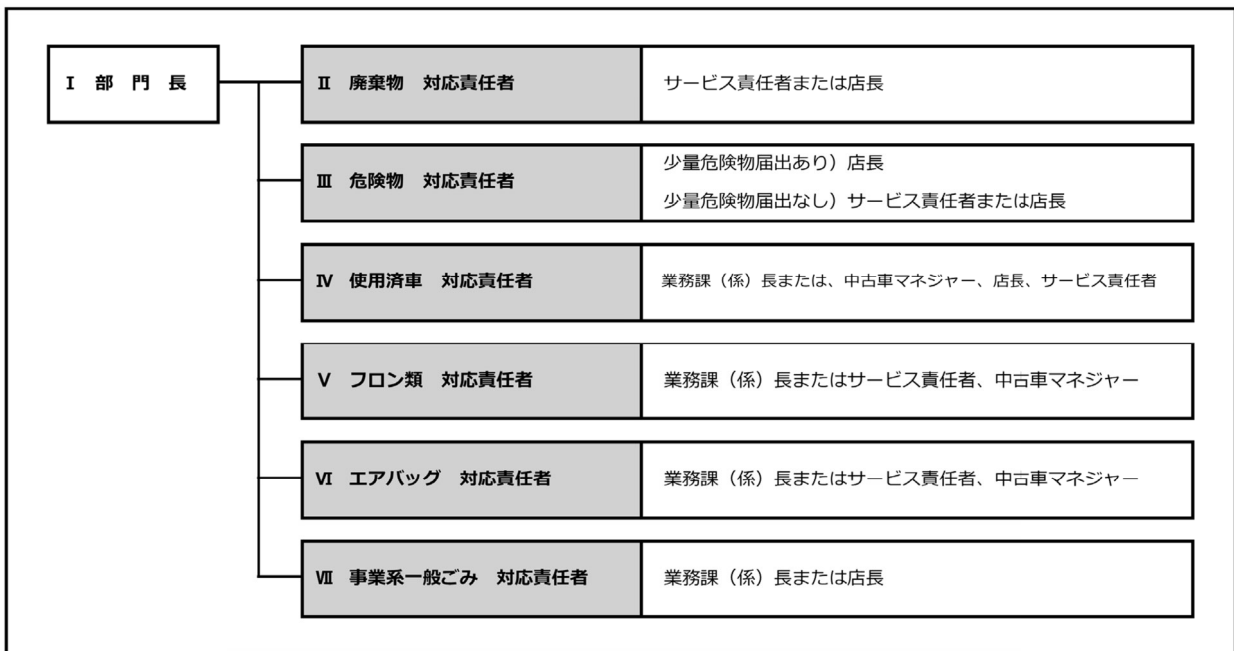
- 注 1 目標削減率は、基準数値（二酸化炭素排出量等）に対する削減率です。任意で設定してください。
- 2 目標数値は、基準数値と目標削減率から算出してください。
- 3 自動車使用管理計画策定義務を負う事業者は、自動車の使用に伴う二酸化炭素排出抑制に関する目標を必ず設定してください。
- 4 基準数値の設定根拠には、基準年等を記入してください。

3 行動計画

行動目標	行動計画	責任部課	実行部課	2025 年度	2026 年度	2027 年度
削減事業 炭素排出量の二酸化炭素削減	昼休み・残業時・空室等不要な照明を消す	各店舗	全員			
	OA機器は省エネモードで使用する	各店舗	全員			
	省エネタイプの電灯(電球)を使用する	各店舗	—			
	近い階はエレベータを使用せず、階段を使用する	本社総務部	全員			
	ブラインド・カーテン等の適切な使用により、冷暖房負荷を軽減する	各店舗	全員			
	室内基準温度を設定する	各店舗	—			
	クールビズの実施(6月～9月)	各店舗	全員			
	働き方改革実施による定時退社の推進(残業削減による電気の消費減)	各店舗	全員			
量等自動車の二酸化炭素削減の炭素排出に伴	アイドリングストップを実施する	各店舗	全員			
	低公害車を積極的に導入する	本社総務部 本社営業推進部	—			

4 環境保全に係る実施組織体制

環境対応体制組織図



5 その他（環境保全活動の取り組み等）

- ・全店舗にて「緑の募金」(主催:社団法人 北海道森と緑の会)に積極的に参加する。
- ・毎月「情報セキュリティ・環境確認の日」を設けて、案内文を作成し、環境保全の取り組みを社員に啓発する。